

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成30年度福井県公共工事入札監視委員会（第1回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成30年6月8日（金） 9:30 ～ 11:30
- 2 場 所 県庁10階 審問廷
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成30年1月1日～平成30年3月31日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 災害などで随意契約をする際の建設会社・コンサルタント会社を選び方は。

A 工事の場合、災害の規模によっては相応の機械があり作業員がいる業者でなければ対応できないので、出先機関の所長が付近の建設会社を選定する。選定した業者とできるかどうかの確認をした後、覚書を締結して工事を行う。

コンサルタント会社については、業者の得意分野であったり、機械が必要な場合にあっては機械を保有しているなどの理由から選定している。

Q 2月に不調不落が多かったが、2月の大雪の時期は避けて工事を発注したりはできないのか。

A 例えば福井豪雨のような大きな災害があり、誰の目から見ても工事ができないという状況では工事をストップせざるをえないが、雪の場合、ある期間を過ぎれば工事ができることが分かっているので、雪が原因で工事を取止めた例はない。

Q 一般競争入札の価格競争で落札率が98%を超える工事はどのようなものか。

A 山間部の工事や特殊な工事等は落札率が高くなることもある。
 - (2) 抽出事案審議（事前に川上委員が抽出）
 - ア 通常砂防工事（防災・安全交付金）29-1
 - Q 395m林道の付け替えと、376m³のコンクリートを打つ工事であるが、大規模の工事なのか。
 - A 高さ約12.5mの砂防ダムであり、砂防ダムとしては通常の大きさで、大規模なものではない。

- Q 設計額4千万円程であるが、砂防ダムとしてはと安いと思われるが。
A 今回は、高さ2.5m分だけであり、今後、本格的に本堤の打設を行っていく。

イ トンネル補修工事（防災・安全交付金）西三松29-3工事

- Q 変更契約で工期が延長されているが、何か理由があるのか。
A 繰越手続き前に発注をかけており、繰越の予算が成立したので、工期を145日に変更した。

ウ 平成29年度 基幹水利施設ストックマネジメント事業 九頭竜川左岸地区第4号工事

- Q 入札参加資格で福井土木事務所管内西地区となっており、総合評価の評価項目でも同地区が2.5点の加点となっているが、もう少し細かく地区を設定することはできないのか。
A 地域の設定については、災害時の対応できる業者数、入札の競争性、地域ごとの特殊性などがあるので、制度設計の難しいところだと考えている。現在は原則が市町単位、福井土木事務所管内では4つの地区に分割しており、業者数などから適切ではないかと考えている。

エ 平成29年度 水産物供給基盤機能保全事業その3工事

- Q 工事名がその3工事となっているが、その1工事、その2工事もあるのか。
A その1工事、その2工事については、小浜漁港で同じような工事をしている。

- Q 応札した3社が予定価格と最低制限価格の真ん中ぐらいで同じような価格で入札しているが、本工事が特殊なこともあり、業者にはこれくらいなら請け負えるという金額の経験則があるのか。
A 入札公告の主たる部分の明示において自社施工を求めているため、業者が自社で行いどれくらいなら利益を確保できるかどうかという相場観はあると推測する。

オ 総合流域防災工事（防災・安全交付金）（効果促進）洪水浸水想定区域検討業務委託 29-1

- Q 過去に同種の実績を有する者から指名したことから県外業者のみとなったとのことだが、洪水浸水想定区域検討業務は県内業者でもできると思われるが、県内の業者は指名しないのか。
A 洪水の問題なので同様な業務の実績のある業者に実施してもらいたいと考えている。

(3) その他

期間中に談合情報はなかった旨を報告